



### 部活動の地域移行に伴って 生じる費用負担の考え方は



公明党 野田 広吉

●中学校の部活動地域移行の  
取組と進捗状況について

Q 経済的な理由で本人が望むとおり部活動に取り組めない生徒がいた場合、地域移行に伴って発生する費用負担をどう考えているか。

A 受益者負担が想定されているが、国の動向を注視しながら補助制度についても今後、検討を進めていきたい。

Q 地域移行に向けた今後の  
具体的な課題は。

A 今後の検討課題としては、指導者の条件設定や確保に向けた取り組み、活動に係る費用、大会やコンクールの運営方法などが挙げられる。

●ごみ全体の減量に向けた取組について



### 新規就農者への支援と農地 集積をどう進めていくのか



志政あやせ 古郡 敏正

●綾瀬市の農業について

Q 新規就農者が増えない理由を分析しているのか。

A 農業の基盤となる農地の確保や農機具購入の費用が新規就農の一つのハードルになっていると考えている。

Q 農業者が望む補助金の  
メニューを検討しないか。

A 農業者の意見や要望を踏まえて柔軟に対応し、補助の対象範囲を含め、適切な支援を検討していきたい。

Q 農業政策では、農地集積の  
必要性が指摘されているが、これまで農地集積はどう  
行われてきたのか。また、今  
後はどう進めていくのか。

A 農作業や農地管理を任せたい農地所有者と、経営規模を拡大したい農業者の間に市が入り、農地の貸し借りに取り組んできた。今後も経営規模拡大を考えている農業者に対し、制度の周知と農地のマッチングを行い、農地の利用集積の拡大を図っていく。

●道の駅について

Q これまで進めてきた道の  
駅整備に向けた考え方や開  
催される予定のワークショップ  
の目的に、変化はあるのか。

A 道の駅基本計画を基に、必要なコンテンツの検討や施設の設計に向けた与条件の整理を目的に、10月から農工商団体や市民を対象にワークショップを開催し、中心市街地の在り方、活性化策を含め、議論を重ねていきたい。



10月19日～23日、「あやせ文化芸術祭 陶芸展（七宝展同時開催）」が開催されました<市役所7階市民展示ホールにて>



### 学校給食の献立において地 産地消は増加しているのか



日本共産党あやせ 福田久美子

●安全でおいしい学校給食と  
無償化への取組について

Q 市内の農産物や畜産物の  
提供は食物連鎖や地産地消  
を体感できる食育につながる  
が、県や市内産の食材を使用  
した献立は増えているのか。

A かながわ産品学校給食  
デーとして毎年3回のほか、  
市内産は、豚肉が月1回以上、  
鶏卵は全て、野菜は年間で  
約10種類を使用して献立を  
提供しており、1学期では前  
年度比で7回増加している。

Q 学校給食異物混入マニ

紙の健康保険証を引き続き

ユアルは、公開の必要性がある  
と考えるが、どうか。

A 異物混入防止対策、混入時の対応、児童・生徒及び保護者への対応、事故の公表などが示された教育委員会の事務処理マニュアルのため、公開は考えていない。

Q 学校給食費の半額補助  
や物価高騰分の補助実施の成  
果を数値化しているか。

A 数値化はしていない  
が、保護者負担の軽減を図る  
ことができたと考えている。



市の木「やまもみじ」

発行する必要性について

Q 本市におけるマイナ保  
険証の登録率と利用率は。ま  
た、現行の紙保険証にデメリ  
ットと考えるものはあるか。

A 健康保険加入者の令和6年8月現在の登録率は53・4%、7月の利用率は16・36%となっている。また、デメリットはないと思われる。



### 図書館再整備にかかるコス トを基本構想で示さないか



成田 龍二

●図書館のライフサイクルコ  
ストについて

Q 現在の出生数が維持でき  
ると仮定した場合、50年後  
の本市の人口は現在の7割規  
模となるため、図書館の適正  
規模も現計画の4000㎡で  
はなく、2800㎡になると  
想定する。市長答弁の「人口  
減少社会を見据え、次世代の  
負担を考慮し、適正規模を目  
指す」を受け、新たな図書館  
の整備に伴う市民負担を理解  
してもらうための情報を、市  
民にどのように伝えるのか。

A 令和7年度に策定予定の図書館整備基本計画で、維持管理費用の試算も想定しており、提示を考えている。

Q 静岡県伊東市では、新  
図書館の建設に伴う一人当た  
りの負担額は月額430円と  
示して市民アンケートを実施  
しており、最初からコストを  
示すことは市民への説明とし  
て素直であると感じる。税負  
担が大きくなることを市民へ  
伝えることなく基本計画の策  
定まで進むことは強引で、後  
から市民負担を軽くしたいと



市公認キャラクター「ブタッコリ〜」

A 具体的な立地場所や施設の形状、構造など、各種コストの算出に必要な事項は基本計画で整理するため、基本構想の段階で提示することは難しいと認識している。

議案は、このように  
審議されます



市長や議員が  
提出

本会議で議案  
の提案説明

議案に対する質疑

所管委員会に付託  
(審査を委ねる)

委員会審査

本会議で委員会の  
審査結果を報告

報告に対する質疑

討論(賛成  
反対)

採決(可決  
否決)

市長に結果を送付

意見書は国・県など  
関係行政庁に提出

委員会審査をしないもの